



「在宅医療・介護連携推進事業」 の取組状況について



在宅医療・介護連携推進事業の取組状況について①

事業概要

在宅医療・介護サービス提供体制の整備

- ◆ 入退院支援移行支援体制の整備
- ◆ バックベッド運用体制整備
- ◆ 訪問診療体制整備

近隣市町との連携



情報共有支援

主治医とケアマネの連絡票
ゆめはまちゃん
医療・介護ネットワーク

課題の抽出及び方策の協議



医療・介護専門職研修



講演会

在宅医療と介護の連携多職種連携研修会

医療・介護連携相談支援

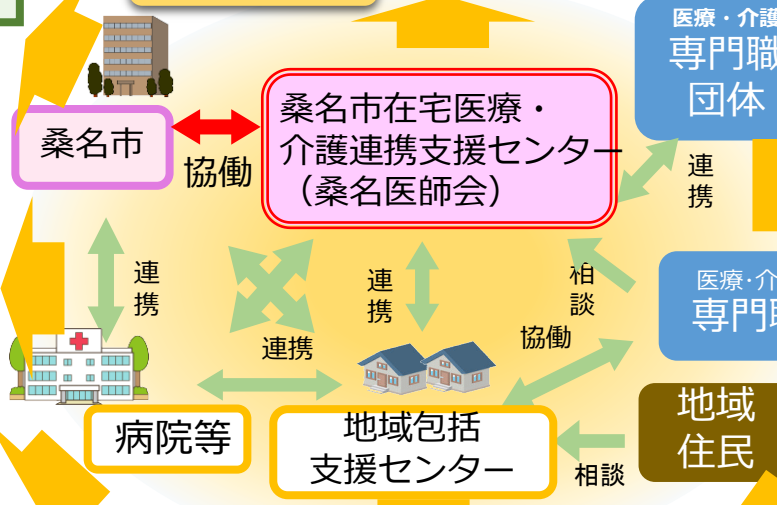
- ◆ 相談時間
平日 8:30~17:00
- ◆ 相談対象者
医療機関・介護事業所・行政
地域包括支援センター

住民への普及啓発

寸劇
教室
パネルディスカッション

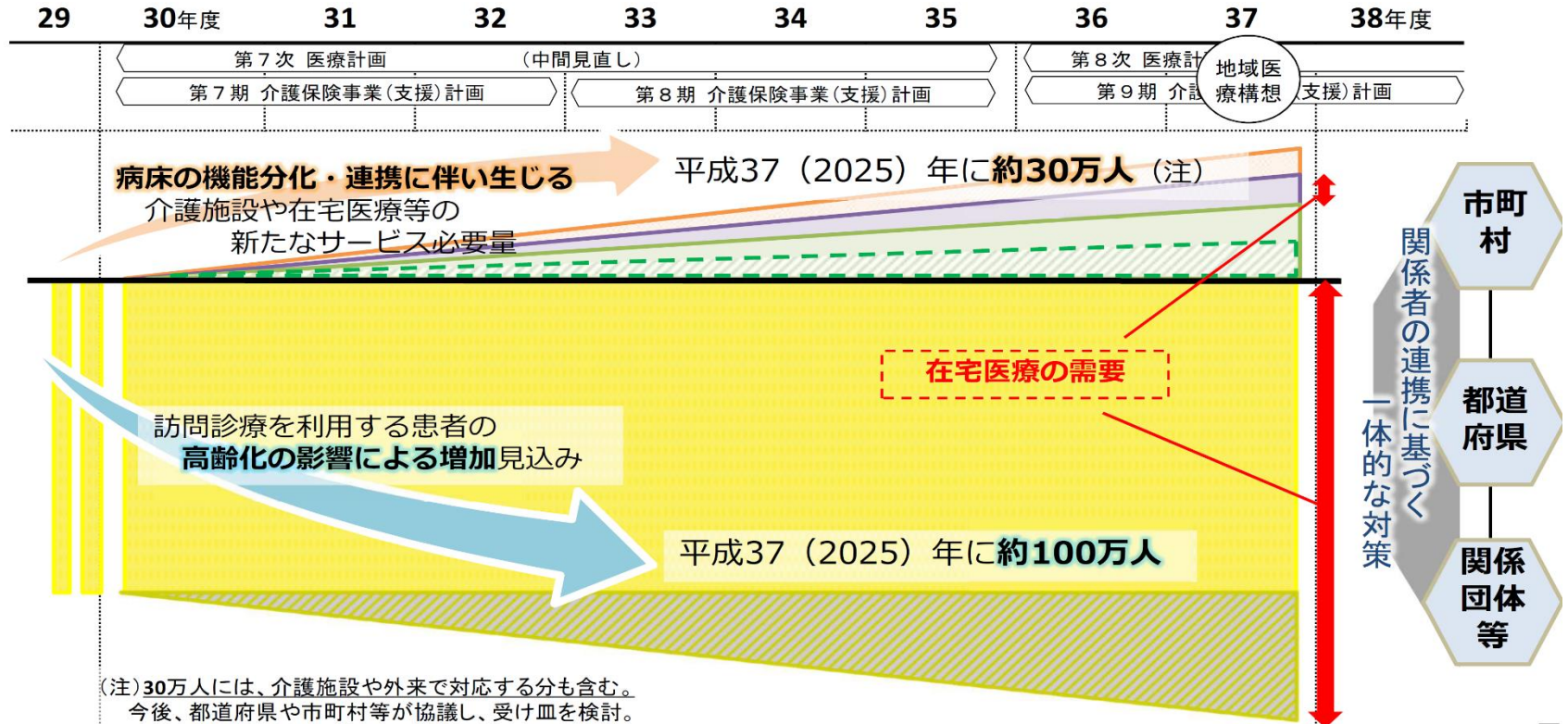
地域資源の把握

くわな 在宅医療・介護マップ
市民用マップ
関係者用リスト
地域資源機能 (ICT)



在宅医療・介護連携推進事業の取組状況について②

将来の在宅医療需要について



(注)30万人には、介護施設や外来で対応する分も含む。
今後、都道府県や市町村等が協議し、受け皿を検討。

厚生労働省資料 2025年に向けた在宅医療の体制構築について

◆厚生労働省資料 2025年の介護施設・在宅医療等の追加的需要の機械的試算（患者住所地ベース）

都道府県	市区町村	年齢階級	計	（療養病床分）		（一般病床分） C3未満	（参考） 訪問診療
				医療区分1 70%	地域差解消		
三重県	桑名市	0～39歳	0.08		0.08	4.95	5.46
三重県	桑名市	40～64歳	6.08	1.94	4.15	13.50	14.88
三重県	桑名市	65～74歳	15.49	7.19	8.30	16.17	32.26
三重県	桑名市	75歳以上	115.32	58.11	57.21	71.84	672.20

方向性

「最期の時を住み慣れた場所で迎える
という選択」ができるまちを目指して

本人が
満足

家族が
満足

私は…こういきたい!



医療・
介護従事者
が満足



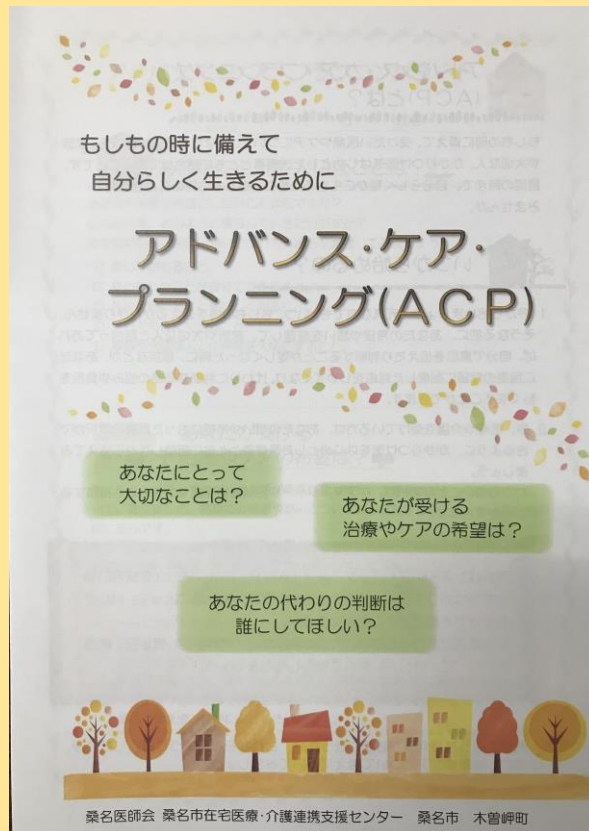
在宅医療・介護連携推進事業の取組状況について③

取組状況

1 本人と家族の選択のために

アドバンス・ケア・プランニング（ACP）の普及

普及啓発用パッケージ作成



アドバンス・ケア・プランニング（ACP）

もしもの時、私の意志と想いを尊重してください。

平成 年 月 日

名前 _____

7月23・24日
ACP普及啓発研修会開催



もうひとつ企画中

在宅医療・介護連携推進事業の取組状況について④

取組状況

2 スムーズな在宅療養移行支援のために

入退院移行支援体制の整備

①ワーキンググループを設置し桑名版「入退院支援の手引き」を作成

第1回	6月26日
第2回	8月7日
第3回	9月25日
第4回	11月6日(予定)
発表	2月21日(予定)



②病院との合同研修会を引き続き開催

【予定】第9回 在宅医療と介護の連携多職種連携研修会
青木記念病院との合同研修会

12月20日（木）くわなメディアライヴ 多目的ホール 18:30～

在宅医療・介護連携推進事業の取組状況について⑤

取組状況

3 安心して在宅療養できる環境を整えるために

在宅医療・介護サービス提供体制の構築

- ①在宅療養者の後方支援ベッド利用に関する体制を整備する。
- ②将来の在宅医療需要に対応する訪問診療提供体制に向けた取組を進める。
(医師会)
- ③医療衛生材料供給のしくみを市内関係機関に周知する。
(薬剤師会・ワーキング)

医療・介護・福祉連携の推進

- ①ヒアリング等で抽出した課題を多職種で共有し、「顔の見える関係」から「信頼できる関係」へステップアップを目指す研修会を開催する。
- ②事業の取組状況等を見える化し、市内の専門職すべてに周知できるよう『NEWS（仮）』を発行する。
- ③多職種が一体となって連携体制の構築を図るための、目標と課題の共有、評価と検証を行う。

在宅医療・介護連携推進事業の取組状況について⑥

